

子どもの貧困 ～子どもへの支援について～

小・中学校では、経済的理由で就学困難な家庭に対し、学校で必要な費用の一部を町より援助している

**問** 親の所得格差で子どもの受ける教育や進学率が影響を受け、教育格差に繋がります。又、二極化が進み、給食が唯一の食事で夏休みに体重の減る子どもがいたり、家計で学校教育費の占める割合増加、高校生のアルバイト増加等、子どもにシワ寄せが起きます。

**答** 援助に該当する方には、申請により学用品費、修学旅行費、給食費等の援助を行っている。幼稚園でも、減免事由に該当する方には、申請により授業料の減免を行っている。

子どもの虐待 ～幼子への虐待の早期発見について～

関係機関と連携を密にし、情報の共有、連絡体制を図りながら児童虐待の防止に取り組むたい

**問** 奈良県で5歳男児が餓死する痛ましい事件が発生。祖父母との接触がなく、自治体が行う各種検診も受けておらず、発見できなかったと報道がありました。幼子への虐待は、町の各関係機関の連携により防止できると考えます。本町の現状、取組みは。

**答** 乳幼児検診を受けていない場合、家庭への訪問による接触、育児状況の把握に努めるなど、育児支援とともに、虐待の兆候の早期発見に努めたい。状況により保健師や児童相談所の相談員等が訪問し、助言や相談を行う中で虐待の要因をできるだけ取り除き、子どもの安全を図っている。

男女共同参画社会の実現について

各種団体や県立男女共同参画交流センターと連携を図りつつ、基本計画に定める数値目標を達成できるよう努めたい



西岡 恵子 議員

その他の質問

- ◆ 特色ある藍住教育推進事業について
- ◆ 正法寺川の浄化と環境学習について

**問** 平成20年度藍住町男女共同参画プランを策定し、平成21年～25年度までを推進期間と定め現在実施中ですが、21年度の実績と22年度の計画につ

いて尋ねます。又、本町のプランの特徴としてDV防止への取組みがあり、この問題解決には中

学課程から非暴力コミュニケーション能力を高め

り、この問題解決には中

**答** 平成21年度は、人権尊重と意識改革では、町広報紙等を利用した啓発活動を推進。各学校PTA等を対象に「女性の人権とDV」について、研修会を開催。

平成22年度は、職員向けの研修会を開催予定。

中学校では、社会科(公民)で現代社会をとらえる見方や考え方、道徳教育で互いに協力し、尊重しあう態度を養う学習をしている。



「女性の人権とDV」研修会 (町民シアター)